



中核だより



病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

- 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
- 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
- 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

CONTENTS

これからの地域医療に向けて	2 ページ
64列マルチスライスCT導入のお知らせ	3 ページ
肥満と肝臓病	4 ページ
栄養サポート、地域住民の皆様へ	5 ページ
当院の安全な医療への取り組み、早期発見のために	6 ページ
面会時間のお知らせ、外来ボランティア募集のお知らせ	7 ページ
外来診療時間及び担当医師のご案内	8 ページ



これからの地域医療に向けて



みやぎ県南中核病院 事務部長 櫻井 博義

みやぎ県南中核病院も今年の8月1日で8周年を迎えることができました。日頃当院の運営にあたり、ご協力をいただいております住民の皆様や関係者の方々に心から感謝申し上げます。

この間、一步ずつですが病院機能の整備や充実に努力してまいりました。最近の新聞やテレビなどでも大きく報道されていますが、全国各地の公的病院が医師および看護師不足などの理由から、運営そのものが非常に厳しい環境におかれています。このような中、当院の医師数は現在68名（初期・後期研修医16名を含む）で開院時の3倍以上となっており、医師の増員とともに着実に診療機能が向上してまいりました。この8年間、病院の理念達成のために、まずは医療スタッフにとって魅力ある病院となるように心がけてきましたが、これらが少しづつ実を結び、研修病院としても評価されてきたのではないかと思います。

さて、すでに報道されておりますが、8月24日に当保健医療組合の臨時議会が開催され腫瘍センター（仮称）と救命救急センター（仮称）の建設設計画が正式に承認されました。両センターの建設構想は平成18年3月策定の「みやぎ県南中核病院将来構想計画」と平成20年3月策定の「みやぎ県南中核病院改革プラン」においても最重要課題とされておりましたので、今回の決定は非常に意義深いものと考えております。両センターともに平成24年度中の稼動に向けて整備を進めてまいりますが、同時に仙南地域では空白となっている「地域がん診療連携拠点病院」と「救命救急センター」の指定の取得を目指すことになります。

腫瘍センターには放射線治療装置を導入し、仙南地域で初めての「がん症例」に対する放射線治療を行うとともに、緩和ケア病棟（痛みや、症状のコントロールを目的とします。）も設けて診断から手術、薬物、放射線治療と、がんに対する総合的な医療の提供を図り、今後さらに増加が予測されるがん症例に対応していく予定であります。

一方の救命救急センターは全国的な医師不足や救急医療、周産期医療など早急に解決を要する課題への対応と地域医療の再生を図ることを目的として、厚生労働省によって創設された「地域医療再生臨時特例交付金」の交付決定を受けて、主に2次医療圏ごとの課題に対し国費で整備を行う事業となっております。

当院は、開院時から救急告示病院として24時間、365日救急医療を担ってきました。その結果、仙南広域救急隊の出動救急車の半数近くが当院に搬入され、担当地域も広範囲に及ぶようになりました。しかし、医療スタッフや施設の不足、あるいは集約化の遅れなどのため一部の重症症例を受入れることができず、仙台医療圏などの救命救急センターへ移送せざるを得ないこともあります。これらの状況に対して、今回の交付決定により当院が仙南医療圏において救命救急センターの役割を担うことが、宮城県地域医療整備計画上も明確になりましたので、これらの課題への対応と充実が積極的に図られるものと考えております。

しかし、両センターが円滑に運用されるためには、救急および放射線治療専門医や看護師の確保も含め、いろいろな課題と問題が山積しております。特に救急医療においては、比較的症状の軽い「一次救急医療」と入院治療を要する「2次・3次医療」の役割分担が、特に、

休日や夜間においては現時点では不明瞭であります。今後、仙南医療圏が一体となって取組まなければならない重要な課題でありますので、住民の皆様はじめ多くの方々のご意見、ご協力をいただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

当院の「腫瘍センターおよび救命救急センター構想」は大きなチャレンジではありますが、これから地域医療の方向性を示すものと考えております。両センターの機能が整備され、あわせて地域全体の回復期、慢性期、維持期の医療の充実が進むことにより、本当に恵まれた環境の医療圏に近づけるものと確信しております。これからも職員一丸となって、「地域完結型医療のセンター病院」としての役割を果せるように努力してまいりますので、より一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

…64列マルチスライスCT導入のお知らせ…

放射線科部長 赤井澤 隆

本年9月に開院以来使用されてきた8列マルチスライスCTに替わり64列CTマルチスライスCTが導入されました。GE社製Discovery CT750HDで東北・北海道地域では2番目の稼働となります。近年導入の進む64列CTの中でも画質が優れており、特に心臓、冠動脈（心臓を栄養する血管）など動きのある臓器の診断に威力を発揮することが期待されております。

64列マルチスライスCTの特長

装置名：Discovery CT750HD (GE Healthcare社製)



【高分解能】新型X線検出器(Gemstone)の搭載

従来のX線CTに用いられてきたX線検出器は、半導体を利用した検出器でしたが、新たな素材として宝石のガーネットに似た分子構造を持つ効率の優れた検出器を世界で初めて開発、実用化し、搭載しています。この新型検出器を搭載することにより、小さな病変や血管の狭窄等を従来よりも鮮明に画像化することができます。

【低被ばく】新しい画像再構成法の採用

X線CTの画像の画質は、X線量を多くすることにより、ノイズが少なくなり、向上する性質を持ちますが、それに伴い人体のX線被ばくも増加してしまいます。この装置では、新しく採用された画像再構成法により、ノイズ成分のみを除去し、必要な信号を中心に取り出す事で、少ないX線量でもノイズの少ない画質を得ることができます。つまり、人体のX線被ばくを低減し、かつクリアな画像が得られます。

【高速撮影】広範囲の超高速撮影

X線CTは、体の周りを撮影装置が回転しながら横断面を撮影しています。1回転あたり64断面の同時撮影が可能となり、広範囲を短時間で撮影できます。また、1回転する速度も向上し、心臓のように常に動いている臓器も撮影可能となりました。



肥満と肝臓病

消化器病センター長 三浦 雅人

現代の日本は美味しい食べ物や飲み物が身の回りにあふれていて「飽食の時代」と言われています。そして食べ過ぎたり飲み過ぎたりした結果、以前に比べ社会全体として明らかに肥満の人が増えてきています。肥満になると、健診や人間ドックの採血で高脂血症、糖尿病などを指摘されることが多く、「メタボリックシンドローム」と診断された経験のある方もいらっしゃると思いますが、実は一番チェックされる頻度が高いのは軽度の肝機能障害だそうです。

肝機能障害の原因には、もちろんB型・C型肝炎といったウイルス性肝炎や、自己免疫性肝炎・原発性胆汁性肝硬変といった特殊な肝疾患もありますが、多いのはアルコール性肝障害や肥満による脂肪肝です。アルコール性肝障害の治療は禁酒、脂肪肝の治療はダイエットであることは誰でも知っているのですが、実行するにはどちらも個人の強い意思が必要なため実際にはなかなか改善できないのが現実です。

また、一昔前には「脂肪肝は肝硬変にならない」と言われていましたが、脂肪肝の中には「非アルコール性脂肪性肝炎（NASH：ナッシュ）」という肝硬変に進行するものがあり、そのような症例がどんどん増えてきていることや、さらに肝がんに進行する症例も存在することが最近の研究で明らかになってきました。したがって、肥満で肝機能障害を指摘された方の場合、NASHであるかどうかを専門医のところできちんと診断することは極めて重要であり、その上で真剣にダイエットすることが必要です。また、最近の研究からC型肝炎の人の場合、肥満の方が非肥満者の約3倍肝がんになりやすいというデータも出てきており、肝がん予防のためにも積極的にダイエットをすすめていく必要がありそうです。

「食欲の秋」になり食べ物のとても美味しい季節になりましたが、健診や人間ドックで肝機能検査に何らかの異常を指摘された方は、毎日体重を測定しながら、あと一口食べたいところを我慢してダイエットしてみたらいかがでしょうか。



…栄養サポート…

大豆もやしと 水菜の炒め物



材料(2人前)

水菜	200g
大豆もやし	200g
にんにく	1かけ
鷹の爪	1本
オリーブオイル	小さじ1
塩昆布	5g

栄養量

熱量 114kcal たんぱく質 7.4g 塩分 0.9g

作り方

- にんにくは薄切り、鷹の爪は中の種をとり、水菜は5cmの長さに切る。
- フライパンに鷹の爪とにんにく・オリーブオイルを入れ、香りがなじんだら大豆もやしを加え、大豆の部分が柔らかくなるまで炒める。
- 水菜の茎と塩昆布の半分を加えて炒める。
- 火を止めてから、水菜の葉を加えて混ぜ、最後に塩昆布を混ぜ合わせれば出来上がり。
※辛いのが苦手な方は途中で鷹の爪をとりだします。

大豆もやし・水菜

大豆もやしには、ビタミンB群やマグネシウム、アスパラギン酸などを含みます。水菜にはカロテンはじめ、ビタミンCやE、鉄分やカルシウムなど、とても多くの栄養素を含んでいます。カロテンやビタミンEは脂溶性のため、オリーブオイルで炒めることで、しっかりと吸収されます。また、ビタミンCは熱に弱いため、火を止めてから加えて、その損失を防ぎます。

にんにく・塩昆布

にんにくに含まれるアリシンは、大豆もやしに含まれるビタミンB1と結合し、その吸収率が高まり、疲労回復に効果があります。また、塩昆布を2回に分けて加えることで、1回目は野菜から水分を引き出ししっかりと野菜に旨味を染み込ませ、2回目は最後に加えることでダイレクトに塩昆布の塩分を感じることができ、全体として塩分を減らせます。

[栄養管理室]



当院は、地域のかかりつけ医の先生方と連携し役割を分担しながら診療にあたっております。初期診療はかかりつけ医の先生で、高度な医療が必要な場合は当院で担うというように、役割・機能を分担していますので、以下の事をお願いしております。

- 緊急性のない場合は、かかりつけ医の先生を先に受診していただくようお願いいたします。
- 地域の診療所からの紹介及び予約の患者さんが優先となっておりますので、紹介状がない場合は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。（救急を除く）
- 当院受診の際、紹介状のない患者さんは診療費の他、厚生労働省告示より保険診療外として1,575円（税込み）をいただいております。

•••当院の安全な医療への取り組み•••

平成22年10月 医療安全管理室

当院では、医療安全を推進し住民の皆様に信頼され安心な医療を受けていただけるような取り組みを進めています。

病院長の直属として医療安全管理室を設置し、専従の医療安全管理者が配置され病院全体の医療安全を統括し活動しております。

医療安全の取り組みのほかにも、患者さんや患者さんの家族の方が医療に関しての疑問や不安に對しての相談を受け付けております。病院の正面玄関から入って右側、総合案内脇に設置された患者相談窓口で受け付けておりますので診療時間内に担当者にお話してください。

これから数回に渡って医療安全の具体的な取り組みを紹介していきます。

事例 外来診察での出来事です

医師は診察室のドアを開け、予約の患者Aさんの名前を呼びましたが患者Aさんの姿は見当たりませんでした。そこで、次の順番の患者Bさんの名前を呼んだところ、患者Aさんが診察室に入ってきました。

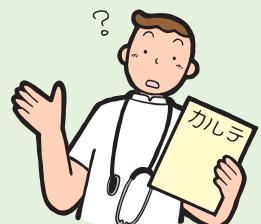
医師は患者Bさんですか？と聞いたところ、患者Aさんは「はい」と返答し診察を受けました。

次に、医師が患者Aさんを呼ぶと、診察を終えたばかりの患者Aさんがまた診察室に入ってきた。医師は、先ほど診察した患者Bさんは、患者Aさんだったことに気付きました。

対策 患者さんに名前を名乗ってもらう

このような場合の対策として当院では、診察や検査の時に患者さんに名前を名乗ってもらう事で、間違いをなくす取り組みを実施しています。

「顔見知りだから…」や「知っているはず…」と思わずに、より安全な医療を提供するため、より安全な医療を受けるために「患者さんから名前を言ってもらう」ことをお願いする場合がありますのでご協力をお願いいたします。



•••早期発見のために•••

泌尿器科部長 和 泉 隼 司

前立腺は男性のみの臓器で、膀胱より深い位置にあり尿道をとりまくように存在しています。役割としては前立腺液を分泌して精子の運動・保護に関与しています。前立腺がんの7割は尿道から離れた外側の領域から発生するため、多くは進行しないと血尿などの症状がでません。

前立腺がんは近年、日本でも急激に患者数が増えています。現在は胃癌・肺癌・結腸癌・肝臓癌・直腸癌について6番目ですが、2020年には肺癌に次ぎ第2位になると予想されています。また前立腺癌による死亡者数は2003年には8,418人ですが、2020年には2.8倍になると予想されています。そのため早期発見を目的として血液検査によるPSA（前立腺特異抗原）検診が、任意ではありますですが各市町村などで行われるようになりました。

現在アメリカでは50歳以上の75%が少なくとも1回はPSA検診を受診し早期発見例が増加した結果、前立腺がんの死亡者数は1990-92年をピークに低下傾向にあります。ヨーロッパでもPSA検診での死亡率減少効果が明らかにされています。また日本においても、PSA検診が導入される前は外来で発見される前立腺癌の50%が転移を有する進行癌でしたが、導入後は検診発見癌のうち転移癌は11%と減少しています。以上のことから日本泌尿器科学会では以下のようない提言を行っています。

①住民検診あるいは人間ドック検診として前立腺癌検診を行う場合、50歳以上（家族歴がある場合は45歳以上）を対象とすることが望ましい。

②スクリーニング検査としては、血清PSA測定が感度が高く妥当である。

③PSA基準値は全年齢で4.0ng/mlが一般的に用いられ、一部で年齢階層別の基準値（50-64歳は3.0、65-69歳では3.5、70歳以上は4.0ng/ml）を採用している。

④PSA値が1.1～基準値以下の場合は毎年、PSA値が1.0以下の場合は3年毎の受診が推奨される。



受診率が50%を超えると、転移を有する前立腺癌は10%以下になると言われています。大河原町ではPSA検診の対象者のうち実際に受診されている方は40%以下に過ぎません。もう少し受診率が上がると治療成績の向上に繋がっていくものと考えられます。

●・●・面会時間のお知らせ ●・●・

※入院患者さんの安静・治療の為、面会時間は必ずお守りください。

※患者さんの状態によっては面会時間内でも面会をご遠慮していただく場合もありますので、ご了承ください。

※面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。面会後は必ず返却をお願い致します。

平 日
一般病棟 14:00～20:00
2階重症病棟 14:00～16:00

土曜日・日曜日・祝日
一般病棟 11:00～20:00
2階重症病棟 14:00～16:00

●・●・外来ボランティア募集のお知らせ ●・●・

◎活動内容：ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い等

◎活動時間：平日9:00～11:00のうち、ご希望の曜日、時間で活動していただきます。（要相談）

◎現在14名の方が登録しており、毎日平均2～4名で活動しております。ボランティア未経験の方もお気軽にご相談下さい。（平成22年8月現在）

◎問い合わせ みやぎ県南中核病院 総務課 大内まで
TEL(0224)51-5500 (内線2010)



《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2010年10月予定

診療科	受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病 8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	非常勤医師	坂田芳之	非常勤医師	×
	甲状腺 (第1・3・5火曜) 13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	×	×
	一般・腎・膠原病 8:00~11:00 (9:00~)	佐藤 仁	×	井上英行 (一般・腎)	佐藤 仁	×
	腎・膠原病 13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	井上英行 (腎)	佐藤 仁	×
	膠原病 (第2・4金曜) 12:30~15:00 (13:00~)	×	×	×	×	非常勤医師
循環器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	堀口 聰	小山二郎	富岡智子	塩入裕樹	井上寛一
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	塩入裕樹	井上寛一	堀口 聰	小山二郎	富岡智子
消化器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	飯岡佳彦	三浦雅人	大沼 勝
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	大沼 勝	三浦雅人	三浦雅人	阿曾沼祥	飯岡佳彦
	肝臓(紹介のみ) 8:00~11:00 (9:00~)	×	×	×	×	非常勤医師
腫瘍内科(紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	担当医	二井谷友公	担当医	担当医 /非常勤医師	非常勤医師
呼吸器内科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	担当医	岡田 /非常勤医師	岡田信司	山田紀広
	再来 8:00~11:00 (9:00~)		山田紀広			
	呼吸器腫瘍 (紹介のみ) 8:00~11:00 (9:00~)	×	×	非常勤医師(隔週)	×	×
神経内科	新患(予約優先) 8:00~11:00 (9:00~)	望月 廣	望月 廣	望月 廣	当番制	望月 廣
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	×	松田真樹子	澁谷 聰	望月 廣	及川崇紀
外科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	力山/高橋	後藤慎二	赤田昌紀	上野達也	佐藤 俊
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	高橋/赤田	上野達也	佐藤/内藤	高橋道長	後藤慎二
	呼吸器外科 (紹介のみ) 8:00~11:00 (9:00~)	×	非常勤医師	×	×	×
	血管外科 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	非常勤医師	×
	乳腺外科 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	×	×
	ストマ外来 (紹介のみ) 13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	内藤広郎	×
	肛門外来 (紹介のみ) 9:00~10:30 (9:00~)	×	×	内藤/上野	×	×
脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	×	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶
整形外科	新患 8:00~11:00 (9:00~)	×	橋本禎敬	×	李 榮茂	岡田 篤
	再来 8:00~11:00 (9:00~)	李/橋本/岡田 (予約のみ)	李 榮茂	×	岡田 篤	橋本禎敬
形成外科	8:00~11:00 (8:30~)	澤村/東	澤村/東	澤村/東	×	澤村/東
皮膚科	新患 8:00~11:00 (8:30~)	×	笹井 収	×	笹井/沼田	沼田透効
	再来 8:00~11:00 (8:30~)	×	笹井/沼田	×	笹井/沼田	笹井/沼田
小児科	一般 (午前) 8:00~11:00 (9:00~)	大沼 /非常勤医師	久間木/大原	大沼健兒	大原/大沼	久間木 /非常勤医師
	一般 (午後) 15:00~16:00 (15:00~)	久間木/大沼				大原/久間木
	心臓外来 13:00~15:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
	血液免疫 13:00~15:00 (13:30~)	×	久間木悟	×	×	×
産婦人科	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木
泌尿器科	8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	一柳 統	一柳 /非常勤医師	和泉卓司
眼科	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	非常勤医師	×
耳鼻咽喉科	13:30~16:00 (14:00~)	非常勤医師	×	非常勤医師	×	非常勤医師
歯科口腔外科 (予約・紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/川井	伊藤/川井	伊藤/川井	伊藤/川井	伊藤/川井
	13:00~16:00 (13:30~)	川井 忠	川井 忠	×	川井 忠	川井 忠

- 予約で来院される患者さんは、予約時間まで受付して下さい。
- 緊急性の高い患者さんは、この時間に係なく24時間受付いたします。
- 電話による予約受付はいたしておりません。
- 予約変更の受付は、平日の午後2時から4時までとなっております。

なお、時間・医師等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。

みやぎ県南中核病院 〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1 TEL.0224-51-5500(代表)